

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 28 年 9 月 15 日			
所属学部・研究科	文学部/研究科 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	(国名: オスナブリュック大学)			
所属学部・学科等名	哲学科			
在籍身分	留学生			
留学期間	平成 27 年 9 月 14 日 ~ 平成 28 年 8 月 31 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: 外国人局(Ausländerbehörde)			
	取得方法, 提出書類: 外国人局へ行き、以下の書類を提出する。・パスポート・証明写真・100ユーロの現金・経済能力証明書類 (奨学金需給書類など)			
	手続きに要した日数: 必要日数自体は2日。外国人局から申請後一ヶ月以内に再度外国人局へ書類を受け取りにくるようしらせてくる手紙が届く。			
その他必要な事前手続き	経済能力を証明する書類は、親族が直接日本のドイツ大使館へ行き申請する必要があるため、頼んでおくこと。			
出国年月日	平成 27 年 9 月 13 日			
経路	成田空港→フランクフルト空港→ミュンスター・オスナブリュック空港			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	10月最初の二週間以内に滞在や学業に必要な事項の説明をするオリエンテーションがある。			
帰国年月日	平成 28 年 9 月 1 日			
経路	ミュンスター・オスナブリュック空港→フランクフルト空港→羽田空港			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額		円	
	内訳	渡航費	18 万	円
		保険料	約 20 万	円
		教科書代(学費)	約 6000 円	円
		宿舍費	一ヶ月約 3 万	円
		食費	一ヶ月約 3 万	円
		その他 ( 費)		円
( 費)		円		
( 費)		円		
<b>3. 授業について</b>				
2015 年 冬学期	10 月 12 日	~	2 月 6 日	

2016年 夏学期	4月 4日 ~ 7月 12日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	留学生向けのドイツ語コースを受講した。学期初めの筆記試験(Einstufungsprüfung)によって各自のドイツ語能力にあったクラスに振り分けられる。期末試験では4つの項目(聞く、話す、読む、書く)がテストされる。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	どの講義の聴講も自由にできる。ただし、ドイツ語の能力が十分でない場合は、ドイツ語コースを第一に考えたほうがよいと思う。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 20 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 3人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり 230 (現地通貨) 約 2万7000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	台所、バスルームは共通なので、きれいに使うこと。Nebenkosten (水道光熱費) は別払い。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input checked="" type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 約20万 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	ドイツの保険会社に参加すると、医療機関での診察料は払わなくて済む。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	水が硬水なので、あまり頻繁にシャワーを浴びていると肌が荒れる可能性がある。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
オスナブリュックのなかで特別危険を感じた場所はなかった。ハンブルクなどの大都市の中央駅付近には柄の悪そうなひとたちがよくたむろしていたので危険と感じた。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
スーパーマーケットなどの食料品店の商品は非常に安価である。自炊をすれば食費かなり低く抑えることができるだろう。またメンザ（大学食堂）での食事安い。一回3ユーロほど払えば十分な食事が可能。町の中央付近にあるキャンパスのメンザは12時から2時15分までしかあいていないので時間を逃さないよう注意が必要である。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 29年 9月	(当初の卒業予定年月 平成 29年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input checked="" type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他（具体的に _____ )	
現在の状況および今後の予定・進路等	専攻科以外の必要単位はほぼとり終わっている。卒業論文指導の単位が足りていないので卒業を延ばすつもり。卒業後は院に進学しようと思っている。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	留学前に広島大学で取れるだけの単位をとってしまうこと。	
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
オスナブリュックは日本人が少なく、その分現地文化あるいは他の文化圏の出身のひとびとと会う機会が増えると思うので、英語でもドイツ語でもコミュニケーションを図りにいくとよいと思う。ただし、その場合積極的に参加できるような環境に自分を投げ込まないと途中でやめてしまう可能性がある。だから、なにか自分の趣味やなにかを共有できるところがあれば良いと思う。		

## 学習の概要に関するレポート

このレポートでは、オスナブリュック大学でのドイツ語学習コースについてと、さらに、HUSA プログラムについての感想も含めて記載する。

冬学期が開始する前の 2015 年 9 月から 10 月のはじめまで大学が提供するドイツ語のインテンシブコースに参加した。コースの開始前に振り分け試験があり、その結果の点数に応じてレベル別に振り分けられた。私の結果は B1.1 であったが、聞き取り、発話に困難さを感じていたの下のクラスである A1.2 に変更させてもらった。

2015 年冬学期、2016 年夏学期ともに、留学生向けのドイツ語コースを週 2 日履修・参加した。クラスはドイツ語の習熟度によって分けられており、クラスの数も習熟度が下のレベルから順に A1.1、A1.2、B1.1、B1.2、B2.1、B2.2、C1 の 7 つであった。私はそれらのうち 2015 年冬学期には B2.1、2016 年夏学期には B2.2 に属した。最初の学期の振り分け先は、インテンシブコースでの振り分け方法と同じように、学期開始前（インテンシブコースの終了時）の穴埋めテストの結果で判断された。その振り分け先のクラスでもやはり聞き取りと発話の能力に関しては非常に不安であった。しかし、そのときは下のクラスに変えてもらうことはしなかった。今考えると、変えておくべきであったと思う。なぜなら、ほかの学生と比べ自分は授業についていけないという感覚があったし、実際に教師の指示が理解できずつらい場面があったからである。そういうつらいことが原因で、授業に参加することに自信がもてず、やる気がそがれるということがあった。だから、私は、最初は無理をしてレベルの高いクラスにいるよりは、内容はだいたい聞き取ることができて、すこしずつわからないことを吸収していけるようなクラスにいたほうが、結局は有意義だったのではないだろうかと考える。学期末試験は筆記試験と口述試験に分けられる。筆記試験の内容は、聞き取り、読み取り、作文であった。口述試験は先生が選んだテーマに関してスピーチ内容をまとめ、与えられた時間のうちに先生のまえでそれを発表するというものであった。

今回の HUSA プログラムでひとつ残念に感じたのは自分の研究科がオスナブリュック大学にはなかったということである。しかし、逆に言えば、自分の研究科以外の学問分野に触れる機会ができたということでもある。ただかすただけではあったかもしれないが、学期中にこれまで興味はあったが正式に学ぶことはなかった分野に挑戦はした。特に、オスナブリュック大学の特色である認知科学の授業に参加できたことは有意義であったとおもう。内容について深く知ることはかなわなかったが、その分野にどのような人がいて、どのようなことに関心をもって研究しているのかということを知るきっかけとなった。また、今後の自分の関心とのつながりも意識するようになった。

## 生活の概要に関するレポート

気候に関していうと、オスナブリュックはドイツ北西部、に位置する都市であり、気候もものすごく寒冷なのかと思いきや、冬でもほとんど雪は降らないし、夏も最高 30 度程度で日本の西条市に比べれば安定していると思われる。

ゼメスターチケットをもっていれば、記載の URL (<https://www.asta.uni-osnabrueck.de/service/semesterticket>) に示された地域内の電車やバスにいちいちチケットを買うことなく乗ることができる。気をつけなければいけないのは、乗ることのできる電車が、RE(Regionalexpress)、RB(Regionalbahn)などの鈍行列車のみであり、IC(Intercity)、ICE(Intercity Express)などの快速列車には乗れないということである。もし快速列車にチケットなしでのり、車掌に見つかり、無賃乗車となり、罰金 60 ユーロを支払わなくてはならなくなる。無賃乗車の罰金の料金はバスでも同様である。また、留学期間が一年の場合は、新学期前にゼメスターチケットの有効日付の更新を行わなくてはならない。もし更新をしないまま新学期中にバスや電車などに乗ると無賃乗車の扱いになる。

食事に関して。ドイツのスーパーの食料の価格は基本的に日本のものよりもはるかに安いと感じた。特にビールやワインなどのアルコール飲料、乳製品、果物や野菜は非常に安かった。ゼメスターチケットがあれば、昼食は大学の食堂で済ますことができる。その場合一食平均 3 ユーロほどですむ。

住居は、私の場合は Leggeweg という通りにある学生宿舎（通称 Studentenwohnheim, あるいは Wohngemeinschaft, WG）であった。同居人は 3 人おり、全員ドイツ人であった。キッチン、バスルームは共用であった。週ごとの掃除当番は自分たちで決めていた。冷蔵庫の中の個人用スペースはしっかり分けられていて、盗まれるということもなかった。大学からの距離は徒歩で約 20 分、自転車で 10 分以内であった。電気水道料金は家賃とはフラットのみんなで割り勘して支払った。

日曜日にはほとんどの店はしまっているのので、その週のうちに買わなければいけないものは土曜日までにしないといけない。トルコ系の人々が経営しているケバブ屋は基本的に深夜まであいていることが多い。

携帯のインターネットは、プリペイドカードが一番簡便であると思う。10 ユーロ先払いで一ヶ月 1 GB の要領が使えるカードなどはお勧めである。宿舎のインターネットは共有で使える無線 LAN があるところとないところがあるらしい。ない場合は自分でルーターを契約する必要があるかも知れない。あるいは大学からユーザーネームとパスワードを渡されるはずなので大学の Wi-Fi (eduroam) を使うこともできる。